

### 4 - 3 地形・数値地形測量

#### 4 - 3 - 1 成果一覧 (ファイル形式・命名則・格納場所)

地形・数値地形測量の電子納品対象書類は、  
 表 4 - 16に示されるように、多岐に分かれている。電子納品の対象となる各成果は、各々表に示されているファイル形式で作成し、同様に示されている格納フォルダ (図 4 - 12参照) 内に、所定のファイル名称を付けて納めることになっている。

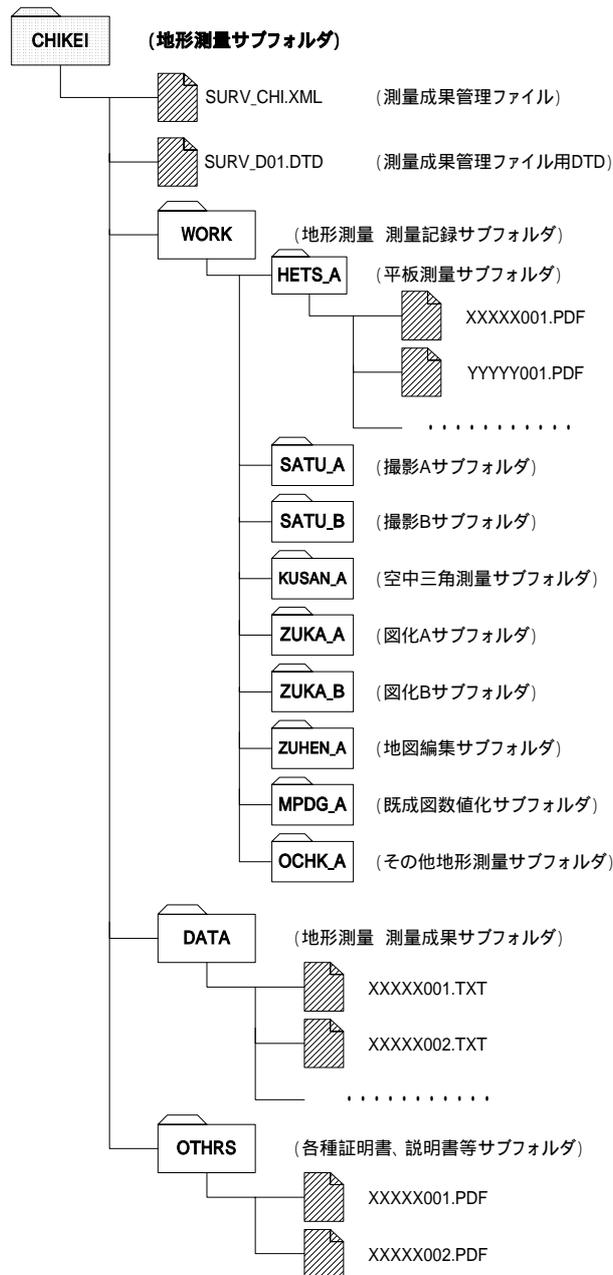


図 4 - 12 地形測量サブフォルダ構成

表 4 - 16 地形・数値地形測量の成果種類

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
平板測量	地形図原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CH*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/HETS_*	
TS 地形測量	DM データファイル	DM	CH*B1nnn.DM	/CHIKEI/DATA	協議により CAD も可能
	DM データインデックスファイル	DMI	CH*B2nnn.DMI	/CHIKEI/DATA	
	DM データファイル説明書	PDF	CH*B3nnn.PDF	/CHIKEI/DATA	
	地形図原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CH*G2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	
	空中写真測量(標定点設置)	標定点成果表	TXT	CS*E1nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/SATU_*
	標定点配置図	PDF	CS*F1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	水準路線図	PDF	CS*F2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	標定点測量簿	PDF	CS*E2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	基準点測量の形式を適用
	同明細簿等	PDF	CS*E3nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	標定点表示空中写真	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CS*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量(対空標識設置)	対空標識点明細票	PDF	CS*E4nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	偏心要素測定簿	(対象外)	-	-	
	偏心計算簿	(対象外)	-	-	
	対空標識点表示密着空中写真	(対象外)	-	-	
	対空標識点一覧図	PDF	CS*F3nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	精度管理表	PDF	CS*G2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量(撮影)	ネガフィルム	(対象外)	-	-	
	密着印画	(対象外)	-	-	
	標定図	DMまたはPDF	CS*F4nnn.XXX	/CHIKEI/WORK/SATU_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
	縮小標定図ポジフィルム	(対象外)	-	-	
	撮影記録	PDF	CS*H1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	精度管理表(撮影コース別)	PDF	CS*G3nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	精度管理表(撮影ロール別)	PDF	CS*G4nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量 (刺針)	刺針点明細表	(対象外)	-	-	
	偏心要素測定簿	(対象外)	-	-	
	偏心計算簿	(対象外)	-	-	
	刺針点表示密着空中写真	(対象外)	-	-	
	刺針点一覧図	PDF	CS*F5nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
	精度管理表	PDF	CS*G4nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量 (現地調査)	現地調査空中写真	(対象外)	CZ*J1nnn.XXX	/CHIKEI/OTHR	
	精度管理表	PDF	CZ*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	
空中写真測量 (空中三角測量)	空中三角測量成果表	TXT	CK*E1nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
	空中三角測量実施一覧図	PDF	CK*F1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	協議により CAD も可能
	パスポイント・タイポイント表示密着ポジフィルム	(対象外)	-	-	
	パスポイント・タイポイント表示密着空中写真	(対象外)	-	-	
	基準点残差表	TXT	CK*E2nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
	座標測定簿	TXT	CK*E3nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
	計算簿	TXT	CK*E4nnn.TXT	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
	精度管理表	PDF	CK*G1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/KUSAN_*	
空中写真測量 (図化)	図化素図	(対象外)	-	-	
	基準点資料図	(対象外)	-	-	
	標定記録簿	PDF	CZ*D1nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	
	精度管理表	PDF	CZ*G2nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	
空中写真測量 (地形補備測量)	地形補備測量図	(対象外)	CZ*J2nnn.XXX	/CHIKEI/OTHR	
	精度管理表	PDF	CZ*G3nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
空中写真測量 (編集)	編集素図	(対象外)	-	-	
	注記資料図	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G4nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
空中写真測量 (現地補測)	現地補測の結果を整理した藍焼図および編集素図	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G5nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
空中写真測量 (地形図原図作成)	地形図原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	地形図原図の藍焼図	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G7nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
修正測量	地形図修正原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	地形図修正原図の藍焼図等	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CH*G3nnn.PDF CZ*GAnnn.PDF	/CHIKAI/WORK/HETS_* /CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
写真図作成	複写ネガフィルム	(対象外)	-	-	
	複写網ポジフィルム	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G9nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUKA_*	
デジタル正射写真図	デジタル写真画像	-	-	-	(未検討)
	数値地形モデル	-	-	-	(未検討)
	デジタル正射写真図データ	-	-	-	(未検討)
	デジタル正射写真図	-	-	-	(未検討)
地図編集	編集原図	(対象外)	-	-	
	注記資料図	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CU*G1nnn.PDF	/CHIKAI/WORK/ZUHEN_*	

公共測量作業規程による分類		ファイル形式	ファイル命名規則	格納フォルダ名	備考
測量細分類	成果等の名称				
デジタルマッピング	DM データファイル	DM	CZ*B1nnn.DM	/CHIKEI/DATA/	協議により CAD も可能 拡張子は「運用基準」参照のこと
	DM データインデックスファイル	DMI	CZ*B2nnn.DMI	/CHIKEI/DATA/	拡張子は「運用基準」参照のこと
	DM データファイル説明書	PDF	CZ*B3nnn.PDF	/CHIKEI/DATA/	
	地形図原図	(対象外)	-	-	
	複製用ポジ原図(第二原図)	(対象外)	-	-	
	精度管理表	PDF	CZ*G8nnn.PDF	/CHIKEI/WORK/ZUKA_*	
その他地形測量		-	-	-	(未検討)
その他	測量機器検定証明書	PDF	Z0TJ1nnn.PDF	/CHIKEI/OTHR	
	ファイル説明書	PDF	Z0TJ2nnn.PDF	/CHIKEI/OTHR	

## 4 - 3 - 2 成果ファイル解説・補足

地形測量の成果は、

表 4 - 16 に示されるファイルの形式によって成果ファイルを作成するものとする。具体的方法は運用基準によるものとする。

## (1) 平板測量

表 4 - 17 平板測量成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
地形図原図		(対象外)	-	-
複製用ポジ原図(第二原図)		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK/HETS_*	CH*G1nnn.PDF

## 【運用基準】

- 1) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

## 【解説・補足】

- 1) 平板測量は、アナログ手法により地形図原図を作成する測量手法である。地形図原図および複製用ポジ原図(第二原図)は電子納品の対象外となっている。
- 2) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4 - 1 - 2 (1) 1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。

## (2) TS 地形測量

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
DM データファイル		DM	/CHIKEI/DATA/	CH*B1nnn.DM
DM データインデックスファイル		DMI	/CHIKEI/DATA/	CH*B2nnn.DMI
DM データファイル説明書		PDF	/CHIKEI/DATA/	CH*B3nnn.PDF
地形図原図		(対象外)	-	-
複製用ポジ原図(第二原図)		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKEI/WORK	CH*G2nnn.PDF

## 【運用基準】

- 1) データファイルは、DM 形式で納品する。また、受発注者間の協議により DM 形式に加えて、CAD 形式でも納品することができる。
- 2) DM データファイル説明書および精度管理表については、PDF 形式で納品する。
- 3) DM データファイルおよびインデックスファイルの拡張子は受発注者間の協議により定める。特に定めがない場合 DM データファイルは「DM」、インデックスファイルは「DMI」とする。

## 【解説・補足】

- 1) DM データファイルおよび DM データインデックスファイルの納品は必須であり、CAD データはそれらを補足するものである
- 2) 受発注者間の協議から数値データ、又は CAD データで納品する場合には、以下の点に留意する。
  - ・ CAD データ形式についてはデータの表示、印刷あるいは後続作業での利用等を考慮しながら受発注者で協議する。
  - ・ 後で容易に利用できるようにファイル形式説明書をその他サブフォルダ（/OTHR）に PDF 形式にて保管する。
  - ・ CAD 形式では幾何構造の変換は可能であっても情報の伝達までは不可能であるため、CAD ファイル内でどのように地図データが分類されているか、注記や記号がどのような形式で記録されているか、説明書に明記する。
- 3) DM データファイルおよび DM データインデックスファイルは、どちらも公共測量作業規程においてデジタルマッピングデータファイル仕様として定義されているため、どちらも DM 形式として捉えられている。但し、物理的なファイルの単位は異なるため、拡張子は「DM」と「DMI」として区別してある。

## (3) 空中写真測量

## (標定点設置)

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
標定点成果表		TXT	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*E1nnn.TXT
標定点配置図		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F1nnn.PDF
水準路線図		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F2nnn.PDF
標定点測量簿		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*E2nnn.PDF
同明細簿等		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*E3nnn.PDF
標定点表示空中写真		(対象外)	-	-
精度管理表		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G1nnn.PDF

## 【運用基準】

- 1) 標定点成果表については、TXT 形式で納品する。標定点成果表は、基準点測量、水準測量等の測量種別単位に 1 ファイルにまとめて作成する。
- 2) 標定点配置図、水準路線図、標定点測量簿、同明細簿および精度管理表については、PDF 形式で納品する。
- 3) 標定点配置図および水準路線図については、図の縮尺に準じて電子化する。
- 4) 標定点配置図、水準路線図および標定点測量明細簿成果の解像度は、必要な地図、記載事項等が明瞭によくわかるように 200 dpi 以上とする。なお、受発注者間の協議によりその他の解像度を用いることもできる。標定点配置図および水準路線図については、それぞれ図単位で 1 ファイルに作成する。
- 5) 標定点配置図、水準路線図および対空標識点一覧図等を一図葉に併記した場合は、それぞれのファイルに格納する。
- 6) 標定点配置図、水準路線図等のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナーの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。  
ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- 7) 標定点測量簿および同明細簿については、それぞれ当該簿の一式を 1 ファイルとする。

## 【解説・補足】

- 1) 標定点成果表は、簡易水準成果を含めて 1 ファイルにまとめて作成するが、ファイル内の整理は基準点測量、水準測量等の測量種別単位で行う。出力する座標系は数学座標系を標準とする。
- 2) TXT 形式の標定点成果表ファイル仕様は、次の通りである。出力する座標系は数学座標系を標準とする。
  - ・ 標定点成果表 / 簡易水準成果のファイル仕様は、1 行 1 レコードのテキストファイルとする。
  - ・ 文字コードは ASCII コード、漢字コードはシフト JIS コードとする。
  - ・ 各データの項目はスペースもしくはタブによって区切るものとする。
  - ・ レコード記述方法は、「10-1」参照。

3) 標定点配置図、水準路線図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。出力する座標系は数学座標系を標準とする。

- ・ 図郭座標には [ 0 , 0 ] を記述する。
- ・ 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
- ・ 座標の単位は、m とする。
- ・ 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図データとの区別を行う。
  - 図郭識別番号は空白とする。
  - 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
  - タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
- ・ 標定図などの表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
- ・ 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

標定点配置図、水準路線図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類コード	項目	データタイプ	備考
標定点配置図	8181	基準点(既知点)名称	注記	説明注記
	7411	標定点	点	
	8181	標定点名称	注記	説明注記

分類	表現分類 コード	項目	データ タイプ	備考
水準路線図	8181	水準点(既知点) 名称	注記	説明注記
	7415	水準路線	線	
	8181	路線番号	注記	説明注記
	8181	交点名	注記	説明注記

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規程の大縮尺図式を用いる。

- 4) 精度管理表をスキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。出力する座標系は数学座標系を標準とする。
- 5) 標定点配置図、水準路線図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する。
  - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。
  - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
  - ・ 標定点配置図、水準路線図等を一図葉に併記し、ひとつのファイルとして作成した場合は、該当するフォルダ(/CHIKEI/WORK/SATU\_\*)に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
  - ・ 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れる。
- 6) 標定点配置図、水準路線図ファイルを PDF 形式で作成する場合で、ファイルサイズが 10Mbyte を越えるような場合、あるいは A3 形式を超えるような場合は、それぞれ 10Mbyte を越えないようなファイルサイズ、A3 形式を超えないような大きさに分割する。標定点配置図、水準路線図を PDF 形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。

(対空標識設置)

表 4-18 対空標識設置成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
対空標識点明細票		PDF	/CHIKEI/WORK/SATU_*	CS*E4nnn.PDF
偏心要素測定簿		(対象外)	-	-

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
偏心計算簿		(対象外)	-	-
対空標識点表示密着空中写真		(対象外)	-	-
対空標識点一覧図		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F3nnn.PDF
精度管理表		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G2nnn.PDF

#### 【運用基準】

- 1) 対空標識点明細票、対空標識点一覧図および精度管理表については、PDF形式で納品する。
- 2) 対空標識点明細票および対空標識点一覧図の解像度は、地図、空中写真および記載事項等が明瞭によくわかる 200 dpi 以上とする。対空標識点一覧図については、図の縮尺に準じて電子化する。
- 3) 対空標識点一覧図のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。  
ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。

#### 【解説・補足】

- 1) 対空標識点一覧図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。
  - 図郭座標には [ 0 , 0 ] を記述する。
  - 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
  - 座標の単位は、m とする。
  - 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図データとの区別を行う。
    - 図郭識別番号は空白とする。
    - 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
    - タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
  - 対空標識点一覧図の表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
  - 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

対空標識点一覧図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類 コード	項目	データ タイプ	備考
対空標識点一 覧図	7412	対空標識	点	

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規程の大縮尺図式を用いる。

- 2) 対空標識点一覧図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する。
  - ・ スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意する。
  - ・ 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
  - ・ 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
  - ・ 対空標識点一覧図は、標定点配置図や水準路線図等と同一の図葉に併記することが可能であるが、その場合でも対空標識点一覧図として該当するフォルダ(/CHIKEI/WORK/SATU\_\*)に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
  - ・ 対空標識点一覧図ファイルをPDF形式で作成する場合で、ファイルサイズが10Mbyteを越えるような場合、あるいはA3形式を超えるような場合は、それぞれ10Mbyteを越えないようなファイルサイズ、A3形式を越えないような大きさに分割する。
- 3) 対空標識点一覧図をPDF形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。

## (撮影)

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
ネガフィルム		(対象外)	-	-
密着印画		(対象外)	-	-
標定図		DM または PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F4nnn.XXX
縮小標定図ポジフィルム		(対象外)	-	-
撮影記録		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*H1nnn.PDF
精度管理表(撮影コース別)		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G3nnn.PDF
精度管理表(撮影ロール別)		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G4nnn.PDF

## 【運用基準】

- 1) 標定図については、DM 又は PDF 形式で納品する。
- 2) PDF 形式での標定図については、図の縮尺に準じて電子化することとし、解像度は 200dpi 以上とする。
- 3) 標定図のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。  
ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
- 4) 撮影記録については、PDF 形式で納品する。ファイルは、撮影地区単位で 1 ファイルとする。
- 5) 精度管理表については、PDF 形式で納品する。

## 【解説・補足】

- 1) ネガフィルム、密着印画については、劣化なしでの数値化は困難で原本性が確保できないばかりか、データ量が膨大になり発注者の管理も不可能と思われるため、対象外となっている。
- 2) 標定図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。
  - 図郭座標には [ 0 , 0 ] を記述する。
  - 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
  - 座標の単位は、m とする。
  - 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図

データとの区別を行う。

- 図郭識別番号は空白とする。
- 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
- タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
- 標定図の表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
- 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

標定図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類コード	項目	データタイプ	備考
標定図	9111	撮影コース	線	
	9112	撮影主点	点	
	9113	写真枠	面	
	8181	コース番号	注記	説明注記
	8181	写真番号	注記	説明注記
	1120	撮影区域	線	
	8181	使用カメラ	注記	説明注記
	8181	画面距離	注記	説明注記
	8181	撮影高度	注記	説明注記

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規程の大縮尺図式を用いる。

- 3) 標定図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する
- スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキャニング」に留意する。
  - 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
  - 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。
  - 標定図は、標定点配置図や水準路線図等と同一の図葉に併記することが可能であるが、その場合でも標定図として該当するフォルダ(/CHIKEI/WORK/SATU\_\*)に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
  - 標定図ファイルを PDF 形式で作成する場合で、ファイルサイズが 10Mbyte を越えるような場合、あるいは A3 形式を超えるような場合は、それぞれ 10Mbyte を越えないようなファイルサイズ、A3 形式を超えないような大きさに分割する。

- 4) 標定図を PDF 形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。
- 5) 縮小標定図ポジフィルムについては標定図の複製品であり、標定図が電子納品されるため対象外となっている。
- 6) カメラキャリブレーションデータは、PDF 形式で必ずその他のフォルダへ格納しなければならない。

(刺針)

表 4 -19 刺針成果一覧

対象書類	書類 作成者	ファイル 形式	格納フォルダ名	ファイル名
刺針点明細表		(対象外)	-	-
偏心要素測定簿		(対象外)	-	-
偏心計算簿		(対象外)	-	-
刺針点表示密着空中写真		(対象外)	-	-
刺針点一覧図		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*F5nnn.PDF
精度管理表		PDF	/CHIKAI/WORK/SATU_*	CS*G4nnn.PDF

【運用基準】

- 1) 刺針点一覧図および精度管理表については、PDF 形式で納品する。
- 2) 刺針点一覧図については、図の縮尺に準じて電子化する。刺針点一覧図の解像度は、必要な地図、記載事項等が明瞭によくわかる 200 dpi 以上とする。
- 3) 刺針点一覧図のファイルは、測量区域単位で作成するが、当図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。その場合も図の縮尺に準じて電子化することとする。

ファイルは、図単位で作成するものとするが、複数にまたがる場合は、ファイル画面の上部にインデックス(位置関係説明図)を入れることとする。

【解説・補足】

- 1) 刺針点明細表、刺針点表示密着空中写真等については、引き伸ばし写真に刺針する作業の成果であるため、電子化によりその刺針の形跡が欠落されてしまう可能性がある。したがって、電子納品の対象とはしていない。
- 2) 刺針点一覧図を PDF で作成するとデータ量が膨大になったり、一度には数値化できない場合があったり、データの有効利用を妨げたりする可能性があるため、DM 形式でも可である。その場合、次の制約を与える。

- 図郭座標には [ 0 , 0 ] を記述する。
- 座標は平面直角座標系とする（通常は左下を原点とする相対座標）。
- 座標の単位は、m とする。
- 図郭レコード(a)の「図郭識別番号」「図郭名称」「タイトル」で、地図データとの区別を行う。
  - 図郭識別番号は空白とする。
  - 図郭名称は該当する成果品名を入力する。例：標定点配置図
  - タイトルは「測量成果電子納品」と入力する。
- 刺針点一覧図の表現に必要な表現分類コードは、別途定義する。
- 背景には作成された DM データファイルを用いるものとする。

刺針点一覧図を DM 形式で作成する場合に、それぞれの表現に必要な表現分類コードは次の通りとする。

分類	表現分類 コード	項目	データ タイプ	備考
刺針点一覧図	7413	刺針点	点	

注：三角点、水準点等の既知基準点は、公共測量作業規程の大縮尺図式を用いる。

- 3) 刺針点一覧図をスキャナでイメージ化する場合には、以下の点に留意する
  - スキャナでイメージ化する場合には、「4-1-2(1)1) アナログ資料のスキヤニング」に留意する。
  - 各々図の大きさがスキャナの走査範囲より大きい場合は適宜分割して作成する。この場合は、図の縮尺に準じて電子化する。
  - 複数のファイルに分割した場合には、ファイル画面の上部にインデックス（位置関係説明図）を入れることとする。
  - 刺針点一覧図は、標定点配置図や水準路線図等と同一の図葉に併記することが可能であるが、その場合でも刺針点一覧図として該当するフォルダ（/CHIKEI/WORK/SATU\_\*）に複製を作成して指定された命名規則で格納する。
  - 刺針点一覧図ファイルを PDF 形式で作成する場合で、ファイルサイズが 10Mbyte を越えるような場合、あるいは A3 形式を超えるような場合は、それぞれ 10Mbyte を越えないようなファイルサイズ、A3 形式を超えないような大きさに分割する。
- 4) 刺針点一覧図を PDF 形式で作成する場合の背景となる地形図には、国土地理院発行の地図画像を用いても良い。